

2月25日(日)は旭市津波避難訓練

災害時の行動力を身に付けよう



東日本大震災の発生から間もなく13年を迎えます。過去の教訓を生かして、大津波の襲来を想定した訓練を実施します。災害が発生したときは、自分の身の安全を確保すること(自助)と、近所の人たちで助け合うこと(共助)が大切です。家族や近所の人たちと一緒に訓練に参加しましょう。

日時

2月25日(日) 午前9時～10時40分

※荒天中止、中止の場合は午前7時ごろに市ホームページと防災行政無線で周知します。

避難場所

●飯岡地区

飯岡小、飯岡中、双葉団地A、下永井団地、いいおか潮騒ホテル、いいおか保育所、飯岡避難タワー、上永井公園

●三川地区

三川小、三川避難タワー

●矢指地区

矢指小、日の出山公園、矢指避難タワー、旭中央病院附属看護専門学校

●富浦地区

富浦小、一中、亀の井ホテル九十九里(旧かんぼの宿旭)、富浦避難タワー

●その他

中央小、豊畑小、二中、海上公民館

対象地区

別表のとおりですが、地区外の人も参加できます。

主な訓練内容

地震発生から津波到達までを30分と想定して行います。

●シェイクアウト訓練

防災行政無線の緊急地震速報を聞いたら、直ちに姿勢を低くして頭を守り、揺れが収まるまで2分程度じっとして待ち、地震から身を守る行動をとります。

津波避難訓練

●津波避難訓練

防災行政無線の大津波警報を聞いたら、30分以内に近くの避難場所に避難しましょう。

●救命救急訓練※

自動体外式除細動器(AED)の使い方や応急処置方法の講習を行います。

●食料供給訓練※

備蓄食料の配布を行います。
※飯岡小・飯岡中・三川小・矢指小・富浦小で行います。

日頃から災害に備えて準備しましょう

避難する際にすぐ持ち出せる

【別表】旭市津波避難訓練対象地区

小学校区	区 名
飯岡地区	永井岡、東町、西上町、西下町、横根東浜、本町、川端町、小網町、広網町、大崎町、八軒町、並木町、飯岡岡、行内、平松岡、平松浜、横根岡、横根西浜、萩園、双葉町
三川地区	曾根、目那、犬林、上宿、後、下宿、浜、県営飯岡団地
矢指地区	十日市場浜、椎名内岡、椎名内東町、椎名内仲町、椎名内西町、東足洗、西足洗岡、西足洗浜、野中、足川岡、足川浜
富浦地区	仁玉岡、仁玉浜、中谷里岡、中谷里浜、川向、神宮寺岡、神宮寺浜、井戸野浜、駒込浜
豊畑地区	井戸野上通り、井戸野中通り、井戸野下通り、泉川、駒込岡、大塚原
中央地区	十日市場岡

※10mの津波が襲来した場合に予想される、市内の浸水範囲に含まれる地区とその周辺を想定しています。

大規模災害の発生時には、消防などの公的機関による救助が困難になるため、自主防災組織などによる自助・共助がとても

自主防災組織をつくり参加しましょう

非常持ち出し品(懐中電灯、携帯ラジオなど)や、支援体制が整うまでの最低3日分、できれば1週間分の非常備蓄品(食料、飲料水、薬など)を準備しましょう。食料などは、保存性の高い物を多めに買い、古い物から計画的に消費して、使った分だけを買って足すローリングストック(循環備蓄)を心がけましょう。

重要です。

自主防災組織とは

「自分たちのまちは自分たちで守る」という自衛意識を持ち、地域住民が自主的に防災活動を行う組織で、主に区や自治会などの規模で結成します。

市からの補助金

自主防災組織を結成すると、主催する研修会や防災訓練、防災用資機材などの購入、防災リーダーなどの人材育成の活動に補助金が交付されます。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎ 62・5311

地震・津波の情報を知ろう

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を発表します。ほかにも、強い地震や津波が発生する可能性が高まっている場合は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

情報の種類に応じて、どのような行動をとるべきか確認しておきましょう。

北海道・三陸沖後発地震注意情報

北海道から三陸沖に延びる日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード7.0以上の地震を観測した際に、巨大な後発地震への注意を呼びかけるものです。

巨大地震が起きた場合、旭市は高さ3m以上の津波に襲われると想定されており、注意情報で備えを強化すべき市町村として対象地域に指定されています。北海道・三陸沖で発生する巨大地震による津波の浸水範囲は「ちば情報マップ」で確認できます。



ちば情報マップ

注意情報が発表された場合は、想定される地震や津波からいつでも避難でき、1週間程度の生活ができるように備えましょう。

- 枕元に靴を置くなど、すぐに逃げ出せる態勢で就寝する
- 非常持ち出し品(懐中電灯、携帯ラジオなど)や、非常備蓄品(食料、飲料水、薬など)を常時携帯する
- インターネットやラジオなどで、緊急情報を取得できるようにする
- ブロック塀に近づかないなど、想定されるリスクから身の安全を確保する

- 備蓄食料の賞味期限の確認や、家具転倒防止板の設置など、日頃からの備えを再確認する
- 避難場所や避難経路を津波ハザードマップなどで確認する



津波ハザードマップ

気象庁から発表される情報ととるべき行動

種 類	発表される津波の高さ	とるべき行動
大津波警報	10m超 10m 5m	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに津波避難場所などの安全な場所へ避難する。到達予想時間まで余裕がある場合は、できるだけ内陸へ避難する。警報が解除されるまでは、安全な場所から離れない。
津波警報	3m	
津波注意報	1m	海岸堤防よりも海側にいる人は、直ちに海岸から離れる。
北海道・三陸沖後発地震注意情報	市内の最大予測約6m*	強い地震や津波が発生する可能性が高まっているので、いつでも避難できるように準備する。
南海トラフ地震臨時情報		
調査中		今後の情報に注意し、地震の発生に備える。
巨大地震警戒	市内の最大予測約5m*	強い地震や津波が発生する可能性が高まっているので、いつでも避難できるように準備する。
巨大地震注意		
調査終了		地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。

※予測を超えた津波が発生する可能性もあります。